

メール申請による受検申請書の入力にあたっては、下記の「記入上の注意」及び当協会ホームページの「[技能検定受検案内](#)」をご覧ください。
なお、入力にあたっては、パソコン上で最新の Adobe 社 AcrobatReader DC をインストールし使用する必要があります。

「記入上の注意」

- 1 ※印の欄には、なにも入力しないこと。
- 2 氏名は略字や俗字を用いなくて、正確に入力すること※。数字は、算用数字を用いること。住所は、番地、棟、号まで必ず入力すること。
- 3 検定職種の欄には、受検を希望する検定職種名を入力し、特級以外は作業名の欄に、受検しようとする選択科目に対応する作業名を入力すること。
- 4 生年月日の元号名、性別の欄は、該当するものに○印を付けること。
- 5 県外に届住の場合、住所は、都道府県名も入力すること。
- 6 学歴、訓練歴及び職歴の欄には、受検資格の対象となる経歴を最近のものから入力すること。なお、受検資格の対象となる経歴がない場合でも、それぞれの欄に該当した最終経歴を入力すること。2 級、3 級の申請書には、学歴(訓練歴)の在学(訓練)期間欄に、卒業(修了)か在学中(訓練中)のいずれかに○印を付けること。最終学歴が中退の時は、その前の学歴を入力すること。職歴が書ききれないときは、メール本文に記入すること。
- 7 職歴の欄の職務内容の項には、検定職種に関する内容をできるだけ具体的に入力すること（不適当な記載の例：生産技術、製造、現場監督、営業、販売）。
- 8 特級、1 級、2 級は、受検資格枠にある下位級技能検定の合格事項欄に、合格した検定職種名、作業名、合格した年月日及び番号を入力し、必ず証明書類を添付※すること。
- 9 試験の免除の欄には、試験の免除を受ける資格に関係のある試験、検定、免許等の名称及び免許等を受けた年月日及び番号を入力し(記入がないと免除が受けられません)、必ず証明書類を添付※すること。
- 10 受検区分の欄は、それぞれ該当する番号に○を付けること。
- 11 鉄工(製缶作業(1 級のみ)、構造物鉄工作業)、工場板金(曲げ板金作業(3 級を除く)、打出し板金作業)、電気機器組立て(変圧器組立て作業)、建設機械整備、冷凍空調和機器施工、配管(プラント配管作業・鋼管使用の場合)の実技試験を受検される方は、試験当日、ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証を携帯しないと受検できません。
- 12 入力した事項に不正があったときは、試験の停止又は合格を取り消す場合があります。
- 13 申請後改姓、住所・勤務先の変更等記入事項に変更があった場合は、直ちに変更届を提出すること。
- 14 本人確認書類として、次の①～⑤の内いずれかを添付※すること。
 - ① 運転免許証、個人番号カード(個人番号の箇所は黒塗りすること)、その他の日本の官公庁が発行した身分証明書(氏名及び生年月日が確認できるものに限る)
 - ② 特別永住者証明書、在留カード
 - ③ 健康保険被保険者証
 - ④ 生徒手帳、学生証(氏名及び生年月日が確認できるものに限る)
 - ⑤ 外国政府が発行した旅券(写真欄及び日本国査証欄)

※**字形の異なる文字(異体字)の入力方法、ファイルの添付方法等は「[詳細の手順](#)」を参照すること。**

受検申請書（右票・写真票）の写真について

- ① 写真は、申請前 6 か月以内に撮影した無帽、正面、上半身、無背景の縦横比4:3の画像ファイル（ファイルサイズは500KB～700KB程度）を受検する試験の写真欄に貼付けてください。
- ② 貼付ける際は、写真の箇所をクリックし、画像ファイルを取り込んでください。
（詳しくは「詳細の手順」を参照すること。）
- ③ 実技試験又は学科試験を受検しない場合は、該当の試験に写真を貼付けないでください。

愛知県職業能力開発協会

〒451-0035 名古屋市西区浅間^{せんげん}二丁目3番14号
愛知県職業訓練会館内 電話(052)524-2034(直通)

※受検申請書の「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置」は、
今後、厚生労働省のガイドラインの改訂、廃止等があった場合には、
見直しを行い、関連情報を当協会ホームページに掲載しますので、申
請前及び受検前にご確認ください。

URL : <https://www.avada.or.jp/information/detail.html?id=396>

